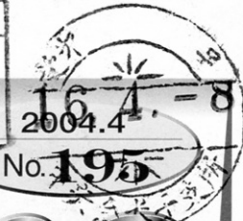


地区	主旨	合	議	区分



Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：浜田一哉 編集責任者：野嶋 功 印刷所：東京印刷(株)

次年度副会長決定！！



3月例会報告

3月15日（月）、米子全日空ホテルにおいて3月例会が行われた。

冒頭の浜田会長挨拶では、自らの野球とテニス経験に触れ、『今だから出来ることがあるはず。糧になることがあるはず。』と結ばれた。続いて、新入会員2名へのバッジ授与が行われた。「次年度副会長指名推薦の件」について臨時総会が開かれ、中本次年度会長より第30期副会長5名(写真左より/若槻 聡会員、南 順三会員、三嶋雄司会員、松浦光善会員、福田一哉会員)の推薦があり、盛大な拍手と共に承認・可決された。委員長タイムでは、花園経営委員長が生活習慣病についてのスピーチを行い、ご自身の日常業務から得られる知識を弁舌爽やかにわかりやすく伝えた。



今月の例会は政治行政委員会が担当し、講師に鳥取県知事夫人の片山弘子氏を迎え、「未来の子供のために～環境・教育・観光～」という演題で講演が行われた。子供たちを取り巻く環境・教育・社会に対して生じている多くの問題点を我々大人が今以上に真剣に考えていく必要があることを再確認させてくれる講演であった。以下、いくつか問題点とキーワードを挙げてみることにする。

○自分（片山氏）は良い時代に生まれ育った。まだ夢を抱いて生きられた時代。

●「今さえ良ければ」「自分さえ良ければ」という人が増えている。

○自分を証明してくれるものが子供ではないか？

●子供は病んでいる。理由は大人にある。

○人間はどうやって大人になるのか？

●大人は忘れている。泥だらけで遊び、喧嘩をしないと大人になれないことを。

○今の学校教育が推し進めていることは「ゆとり教育」「生きる力を育てる教育」？

●ほとんどがそうおもえないことばかり。

○『なぜ学校に行かないといけないの？』という子供の問い掛け。

●とんでもないこと、悪いことだと大人が説明できない。「私はこうおもう」ということをやめた日本。「こう在るべきだ」と自らの信念を子供に伝えないと「世代性」が継承できない。

○私たちは後世に何を残すのか？

●大人が行っていることを子供は見ている。大人が学ぶことに謙虚ならば子供も謙虚に学ぶ。子供と真剣に向き合おう。



皆さんは、講師の問い掛けにどう答えるであろうか？●印の後の語句に「何故？」をつけてもう一度考えてみていただきたい。よく私たちは『子供は・・・』とか『子供が・・・』と話を始める。しかし、今講演の中で「子供は自分を証明してくれるもの」とあった。我が子の言動でドキッとした経験を持つ人は、子供が親(自分)の合わせ鏡だとすると自分の姿に気づいていないだけでも言える。「大人が行うことを子供は見ている」というキーワード。今一度その意味をかみ締めたい。

私の大切なもの ～大ぶっさんの独り言～

僕の名前は「大ぶっさん」。住みかは押入れのダンボールの中さ。陽のあたることはなかなか無いけど、仲間が沢山いるからぜんぜん寂しくないよ。教科書君達に縦笛ちゃん、画板君もいる。いいだろ。僕の生みの親は彼女。君達も良く知っている人だよ。25年位前にさ、彼女が美術の時間にお面づくりをしてね、それで出来あがったのが僕。彼女は僕の鼻のラインがお気に入りだね、鼻をなぞっては『かっこいいぞ!』って言っていたね。この前の引越しの時も、その前の引越しの時もダンボールを開けては僕らを眺めて『捨てられないよねー。』の一言で一心同体さ。

僕がおもうに彼女は片付け下手なんだよね。仲間が大勢いることそのことを証明するし。間違いない! 自覚してないから重症だ。ここだけの話だから内緒にしておいて欲しいんだけど、彼女は愛用したものや人からもらったものには八百万(やおよろず)の神が宿っているって本気でおもっているふしがある。けど、そんな彼女だからこそ過ぎていく一瞬一瞬を心の中の手帳に書き込むように思い出として大切にできるんじゃないかな。それこそ『これは〇〇さんからもらったもの。うれしかった。』とか『これを使っていたときはこんなことがあった。あの時は辛かったなあ。』とか。きっと彼女が一番大切にしているものは「今、活きている時間」なんだよね。

最後に、彼女の名誉のために決して「ステラレネーゼ(※)」ではないってことだけわかってあげてよね。

※片付け下手のため足の踏み場もない部屋に住む女子のことをいう



(30周年記念事業：大ぶっさん)

専門家の豆知識

「金融機関の抱える不良債権」とは何でしょう?なぜ、「貸し渋り」や「貸し剥がし」が生じるのでしょうか?今回は中小企業に身近な問題でもある貸出金の査定について解説しましょう。

金融機関は、海外にも拠点を有している場合に一定の計算式に基づいて資産査定(貸出金を中心)を行い、自己資本比率8%以上を維持しなければなりません。貸出金の査定については企業の財務内容による格付けを実施し、これを基にして貸出先を区分しています。これを「債務者区分」と言います。

では、何のために区分するのかというと「回収リスクに応じて貸倒引当金を積み、正味の資産を割出すため」です。単純に言えば、回収が難しくなるほど貸倒引当金をたくさん積みまなければならない、その分だけ金融機関の資産が目減りし、自己資本比率は悪化します。ちなみに、もし8%を割り込むということになれば金融機関が国有化されてしまう恐れが生じてきます。

「債務者区分」ですが、「正常先」「要注意先」「要注意先(要管理先)」「破綻懸念先」「実質破綻先」「破綻先」の6つに分類され、最初の2区分を除くものが一般に「不良債権(リスク管理債権)」と呼ばれます。以下、債務者区分別の概要について説明していきます。なお、【 】内は貸倒引当率を示します。

「正常先」／【債権額の1%未満】

別段問題のない先。

「要注意先」／【債権額の5%未満】

正常債権であっても、実質赤字・実質繰越欠損等財務内容に問題がある先。また、赤字には至っていないものの資金繰りが窮屈になっている債務者。ただし、赤字先でも次の場合は正常先としています。「①創業赤字(最長5年程度)」、「②一過性の赤字(臨時的特別損失・固定資産の除去損等一過性の原因による赤字)」、「③返済能力に特に問題がない先＝キャッシュフロー〔当期利益＋減価償却費－社外流出(配当金等)〕が十分ある先」

「要注意先(要管理先)」／【債権の無担保部分の15%未満】

「要注意先」のうち債務者救済目的での金利の減免または貸出条件の変更先。3ヶ月以上の延滞先が該当します。

「破綻懸念先」／【債権の無担保部分の70%未満】

経営難の状態にあり、経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者。実質債務超過先(自己資本がマイナス)はこの区分からの検証となります。

「実質破綻先」／【債権の無担保部分の全額】

法的・形式的な経営破綻の事実は生じていないけれども、深刻経営難で債権の見通しがないと認められ、実質的に経営破綻に陥っている先。

「破綻先」【債権の無担保部分の全額】

倒産先。



ですから、金融機関が手取り早く自己資本比率の改善を図るためには、「問題先へは貸さない」か「問題先からの融資を強制回収する」かのどちらかになるのです。これが、貸し渋り・貸し剥がしの正体です。

一方、金利についても「債務者区分・企業格付け」に基づいて決められる手法が主流となっています。ですから、極端な例として「破綻懸念先」に融資する場合、貸倒引当金を70%も積みまなければならないとなると金融機関は一体何%で融資すれば儲かるとおもわれます?金利の高低にはこういう訳があるのです。

では、それ以外に金融機関が健全化を図る方法はないのかと言えば実はあるのです。それは、債務者区分を「正常先」にあげることです。そのためには借り手の中小企業自身の経営改善ももちろん必要ですが、各金融機関とも経営支援(リレーションシップバンキング機能強化)については前向きに取り組んでおりますので、内容についてのお問い合わせやご相談は中国銀行・小川が主要取引銀行までお願いします。

(広報：小川昌史)

3月度各委員会報告書

情報メディア委員会

平成16年3月8日(月) 於：米子食品会館 出席者/9名
内容/中央会ホームページ更新と新たな試み

【ハードウェア部会経過報告】

HPの製作・更新の作業とスペースについて、将来的なコンテンツや内容の増加に対応するためにはどうしたらいいかを検討した。試案として、担当例会の例会案内をメールにて(メール不通対策をした上で)行うことを役員会に上程する。

【ソフトウェア部会経過報告】

現在のHPの問題点・良い点、今後のHP作成のアイデアを各会員で考えた。

政治行政委員会

平成16年3月8日(月) 於：ホールサムインかいけ 出席者/15名
内容/3月担当例会最終打ち合わせ、4月委員会講師選定の確認

3月担当例会の準備進行状況・講師控え室など疑義事項の協議・全体進行に関する確認等を行った。

また、4月委員会講師選定については、チーム「観光」(松原リーダー)により講師に米子北高等学校講師バートン氏、演題に「Dead or Alive? YONAGO!」で調整中との報告があった。

国際交流委員会

平成16年3月4日(木) 於：ホールサムインかいけ 出席者/13名
内容/外部講師講演

講師：長谷川ロウエナ女史

演題：フィリピン人から見た生活様式の違いについて

国民が生活水準別で3段階に分かれており、裕福な人達と貧しい人達がそれぞれ固まって都市を形成している。貧しい階級の子供達の多くは学校に行けず、おもちゃをしたりゴミの山から食料や売れる物を拾ったりしながら自らの食いぶちを稼いでいる。そんな国状から日本を見た場合、物量だけが多いが全体的に愛情表現が希薄で、恥ずかしがりやが多く、弱々しく感じられるそうである。

女史が指摘された「学校に行ける恵まれた状況にあっても行かない児童がいる」ということには「大切な何かを忘れていませんか?」と問われている感じがした。

経営委員会

平成16年3月8日(月) 於：ホテルサンルート米子 出席者/10名
内容/外部講師講演

講師：木村正義(きむら・まさよし)氏

(株式会社東京商工リサーチ米子支店支店長)

演題：倒産は語る ～米子地区の倒産事情から～

1. 倒産とは

一番多いのが銀行取引停止(最近は減少傾向)、二番目に多いのが自己破産。

2. 山陰地区の倒産事情

[原徳：単体で97億の負債額]

金融機関から見た場合、自己破産が手取り早い今回民事再生法申立て地場産業や納入業者にとっては救われた形。

3. 倒産回避へのキーワード

・危機管理

- ・品質(→品質悪化が倒産の目安)
- ・社風、文化(→企業は人なり、社風づくり)

地域ビジョン委員会

平成16年3月10日(金) 於：皆生温泉・白扇 出席者/8名
内容/外部講師講演

福本有希子(ふくもと・ゆきこ)氏

(有限会社白扇 専務取締役)

演題：皆生の観光について

若おかみの悩みは、循環ろ過式のお湯のこと。消毒して使用しているが衛生面で心配。かけ流し式にしたいがお湯の割り当て量が足りないとのこと。また、団体客相手から個人相手にシフトしたが、個人相手は人件費のコストが上がるばかりかインターネット等の情報過多によりクレームのレベルが高くなり、それに應えるのが難しいとのこと。

旅館経営の難しさを話し合ううちに議論が伯仲し、時間を大幅にオーバーして終了した。

広報委員会

平成16年3月3日(水) 於：境公民館 出席者/10名
内容/ハンサム4月号編集等

ハンサム4月号の編集を行い、自社PRならびに自社「トリビアの泉」の披露も行った。詳細は委員会報告書に記載。

総務委員会

平成16年3月5日(金) 於：ホテルサンルート米子 出席者/13名
内容/4月レクリエーション例会打ち合わせ等

4月18日に行われるレクリエーション例会について協議した。その中で、ご家族の方に参加いただけるように案内チラシを作成しDM配布することを確認。

各競技企画案の提出ならびに競技の決定は次回打ち合わせ(3月17日)で。その際、備品リストを作成し、詳細な進行や受付配置などを決定する。

30周年記念事業委員会

平成16年3月5日(金) 於：米子食品会館 出席者/5名
内容/30周年記念事業進捗状況について

各部会進捗状況について担当委員より報告が行われた。

【運営部】 式典会場の設営方法や会場の中継方法などについて。/今後、セクション担当ごとのタイムスケジュール(進行表)を作成する。

【提言部】 会員意識調査のアンケート配布・サブタイトルについて検討中。

【制作部】 ドキュメントビデオの企画および記念誌のインデックス作成等。

【広報部】 現役会員の意識高揚を狙いとした横断幕を作成。/周年事業啓蒙の一環としてカワラ版を作成。/ポスターのイメージ案を作成中。

【管理部】 来賓名簿の作成。

委員長交流会を終えて

毎年恒例の行事となっている委員長交流会が2月21日(土)に羽合温泉「羽衣」を会場に行われた。市位県会長をはじめ各地区県出向役員の尽力により盛大に開催された今交流会には東部7名・中部4名・西部8名の委員長が集った。はじめに市位県会長より挨拶があり、各委員長の3分間スピーチから始まった。各委員長とも自分の委員会の内容と想いを熱く語った。その中でも西部の委員長は想いが強いのか、全委員長が3分以上語っていたのが印象的だった。

続いて、グループ別のディスカッションへと進んだ。皆、初めて見る各地区の委員長に少しばかりうわずった口調で話し合いが行われたが、時間が進むにつれ緊張という壁が少しずつ崩され、お互いの想いを確認し合う和やかな雰囲気になっていった。その後のグループ発表では、各グループ長が個性的な言葉でまとめられ、楽しさの中にも熱き心を内包していることを改めて感じた。

懇親会では夜遅くまで盛り上がり、朝の4時まで語り合った委員長もおられたようである。私は幸か不幸か早めに床に着くことができたが、両隣の布団から聞こえる蛙の鳴き声に悩まされなかなか眠れなかった。しかし、私が眠ってからは私の両隣の方はトドの来襲とおもったに違いない。そんなことはさて置き、大変楽しい委員長交流会であった。経験のない方は今後参加できる機会が来ることを祈るばかりである。

(政治行政：山根宏典)

伝心伝承

当コーナーでは会長、県会長経験者の方々に「中央海」という大海原での羅針盤たる助言・苦言をいただきます。9回目は第26期会長土井一朗OBです。



一中央会入会の動機とご自身の中央会活動を振り返っていただけますか？

入会したのは20代後半。自分の仕事の周辺しか知らなかったのも、異業種のことや経営者・企業幹部がどう考えているか、また考え方がどうあるべきか等々新鮮な気持ちで学ばせてもらいました。当時はいろんなサムライの方がおられたので、私自身の人格形成に大きく影響を受けました。感性が一番鋭い時期にたくさんの方の話を聞いていただき、本当に中央会には鍛えてもらいました。30代半ばに「経営者としてどう生きるか、男としてどう生きるか」を真剣に考えるようになり一生懸命勉強するようになりました。

一当時のスローガン「志と実学」について詳しくお聞かせください。

中央会はリーダーを養成する機関なのだから、生き抜く価値観となる「志」を持つことは重要だともいいました。また、私たちは学者でも評論家でもないで、実際に社会を生き抜く手段としての「実学」は当然必要となってきます。

「志と実学」このふたつを身に付けることができれば、凡人でも素晴らしい人生を生きることができるとの信念がありましたので、会長としては1年間このスローガンに全会員が真摯に向き合ってくれたいという思いがありましたね。

一現役会員に対して一言お願いします。

「青年老いやすく事業なり難し」「一日一日にテーマを持って生きる」かな。今、時代は相当変わってきています。景気の回復もそうだけでも、価値観の変わり目も突然やってきます。世の中が私たちリーダーに求めることも同様です。そのときに時代の風を必ずつかめるように志を持つとか世界観を持つとかして欲しいですね。

勉強しようと思えば始めることが大事であって、年齢によって早い遅いはないはず。ただし、「ハングリーな精神を持って感性も志も磨いて」という気概のある日本人が少なくなったので全てやった者勝ちだわな(笑)。

【後記】

土井一朗OB、ありがとうございました。静かな口調の中にも情熱を感じ、聞いていて背筋がピンと伸びるような感じがしました。これからも健康には十分留意されて頑張ってください。(広報：木下立己)

言わしてごしない 其の九

人を評価するときに「あの人は器が大きい」等という言葉聞いて、最近よく考えることがあります。というのも、生まれながらにそういうものを持っている人もいるかもしれませんが、ほとんどの人が人生における経験や出会い等により作られているものではないかとおもえるのです。皆さんの周りにも、お心当たりの人は居るのではないのでしょうか？ゆとりのある、信頼される人になりたいとおもう今日この頃です。残り少ない中央会生活が大切な思い出となるように大事に過ごし、多くの人と出会い、自分に磨きをかけたいとおもいます。

(総務：“境港のおやじ” 孝志)

御成婚

尼子 健会員(広報) 2月29日(日) グラム島にて
おめでとございました。未永くお幸せに!

TEL&FAX番号変更

山本竜男会員(経営) 高田孝志会員(総務)
携帯電話:080-1934-3413 携帯電話:080-1905-6008

訂正とお詫び

ハンサム3月号掲載の琴本満梨子会員の自宅住所が間違っておりました。訂正するとともにお詫びいたします。申し訳ありませんでした。
正:米子市夜見町3023-30

我輩はスリラーである!

かれこれ10年くらい前の話だが、バンジージャンプが日本で流行したことをおぼえている方は多いとおもう。その頃、学校の研修旅行でオーストラリアに行く機会があり、当時では一番高い方だといわれていた44メートルのバンジージャンプを体験することができた。ちょうどビルの12階から飛び降りるのと同じ恐怖感が味わえると聞き、飛んでみた。これが何故か楽しい。飛んだと同時に一瞬で地面が迫ってくる。でも、接着する瞬間にスローモーションになったような不思議な感覚に襲われる。スリルのあるものにとりつかれたのはその時からだろうか。

何年前かにスカイダイビングをした時、醍醐味であるフリーフォールの時間を長く取るために高度をギリギリまであげてダイブした。スカイダイビングは落ちている感覚よりも飛んでいる感覚の方が強く、とても気持ちがいい。特に、パラシュートを開いてからはユラユラとゆっくり落ちていくので、まさに鳥になったかのような気分が味わえる。人生観が変わるようなスリルを感じている時がもっとも生きていることを感じる瞬間だとおもう。(岡)

4月例会案内

とき：平成16年4月18日(日) 9時00分集合
9時10分開会式

ところ：岸本町B & G 海洋センター ラグビー場
(雨天の場合は、同 体育館)

内容：30周年記念大運動会

※体育館使用の際には上履きが必要です。雨天のみならず曇天の場合にもご準備ください。

4月役員会報告

4月定例役員会が平成16年4月1日(木)、食品会館において開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- (1) 4月例会、5月例会開催の件
- (2) トライアスロンボランティアの件
- (3) 30周年記念事業の件
- (4) その他

※なお、詳細については委員長までご参照ください。